

英国金融政策（2023年6月）

13会合連続の利上げ、利上げ幅は0.5%ポイントに拡大

2023年6月23日

賃金・サービス価格の大幅な上振れに対処

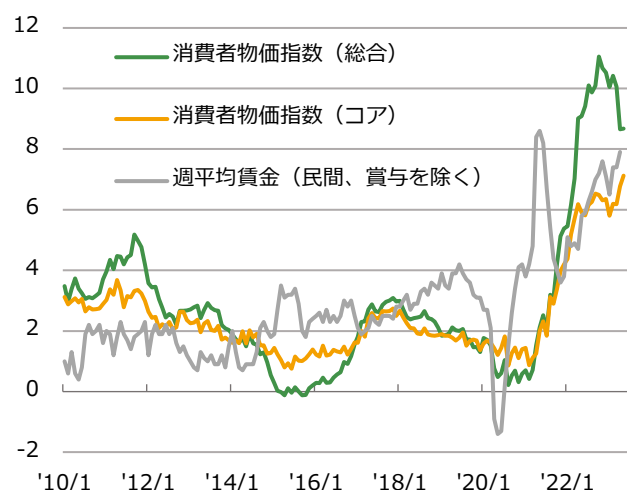
BOE（イングランド銀行）は6月21日（現地、以下同様）に終了したMPC（金融政策委員会）で、政策金利を4.5%から5%へ引き上げることを決定し、22日に発表しました。2021年12月から13会合連続の利上げです。利上げ幅は最近2回の0.25%ポイントから0.5%ポイントに拡大されました。MPC直前にかけて0.5%ポイントの利上げを一部織り込む動きも見られましたが、市場予想の中心は0.25%ポイントの利上げでしたので、サプライズとなりました。票決は7対2で2名は据え置きを主張しました。

BOEは利上げ幅を拡大させた理由として、ひっ迫した労働市場と需要の継続的な回復を背景に、最近の経済データが大幅に上振れており、より持続的なインフレを示していることを指摘しています。具体的には、賃金とサービス価格の上振れで、4月の週平均賃金（民間、賞与を除く）は前年同月比（以下同じ）7.9%と3月の7.4%から、5月の消費者物価指数のうちサービス価格は7.4%と4月の6.9%から、いずれも伸びが加速しており、コアの消費者物価指数を押し上げています。

BOEは既に大幅な利上げを実施していますが、賃金と物価のスパイラル的な上昇が懸念されるなか、今後も複数回の利上げが見込まれます。景気は過去1年に亘り停滞しており、物価安定のための金融引き締め強化が景気後退をもたらす可能性は否めません。なお、MPCの結果発表直後は英国金利、ポンドとも上下に大きく振れましたが、最終的には株価を含めて「英国売り」の様相を呈しました。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2023年5月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
週平均賃金は2023年4月まで (出所) リフィニティブ

英国の金利と為替

(%) (2020年初～2023年6月22日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management